

【 西 当 別 小 学 校 】

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年度「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果分析がまとまりましたのでお知らせいたします。児童が取り組んだ、国語、算数、理科、学習等に関する児童質問について、全道、全国と比較しながらの分析となっています。

なお、この結果については、本校の6年生を対象に国語、算数、理科の3教科のみの実施であることから、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものでないことを申し添えます。



1, 国語・算数・理科の調査結果

本校児童は 今回出題された学習内容に関しては・・・

教 科	全道平均との比較	全国平均との比較
国 語	上回っている	上回っている
算 数	上回っている	下回っている
理 科	上回っている	上回っている

国 語

1, 内容の様子・特徴的な設問

<学習指導要領 内容の様子>

学習指導要領の内容	全道平均との比較	全国平均との比較
言葉の特徴や使い方に関する事項	下回っている	下回っている
情報の扱い方に関する事項	下回っている	下回っている
我が国の言語文化に関する事項	上回っている	上回っている
話 す こ と ・ 聞 く こ と	上回っている	上回っている
書 く こ と	上回っている	上回っている
読 む こ と	上回っている	上回っている

<今回の調査における特徴的な問題>

- 1-1・2 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題と、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題に課題がありました。

- 一 「話し合いの様子」の小森さんは、インタビューをどのように進めようかと考えて、―― 彼の発言をしましたが、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
 - 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
 - 3 複数の質問を関連付けて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
 - 4 複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 二 「話し合いの記録」の書き表し方を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
 - 2 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。
 - 3 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしぼっている。
 - 4 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

【正答】一. 4 二. 2

1 小森さんの学習では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人（インタビュー）をすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。あは、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。さっさと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだな。

小森さん 確かに、大変そうだね。『仕事で大切にしていること』で話してくれたことをさっさと聞いて、『仕事で大変なこと』を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、厳しそうだなと聞いていたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん さっさと仕事にやりがいがあるからだだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることややりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。これまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でいいかな。

【話し合いの記録】

働くこと（バスの運転士）

```

    graph TD
      A[大切にしていること] --> B[やりがい]
      A --> C[安全を守る]
      A --> D[時間を守る]
      C --> E[大変なこと]
      D --> E
      E --> F[大変なのに続ける理由]
  
```

2. 国語 改善の方向

1-1

自分の目的や意図に応じて、相手から聞きたいことを引き出すためには、集めた材料を分類したり関係付けたりして、どのようにインタビューを進めたらよいかを考えることが重要です。小森さんは、「安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだな。」という町田さんの発言を受けて、「『仕事で大変なこと』を聞くことができるかもしれないよ。」と話しています。ここでは、小森さんが、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることが求められます。

1-2

話し合いの内容を記録する際には、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることが重要です。ここでは、小森さんが、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることが求められます。

☆相手や目的、意図を一層意識して、話す内容を整理したり、聞き手の状況を判断したりする対話的な学習を充実させます。

算 数

1. 領域の様子・特徴的な設問

<学習指導要領の領域の様子>

学習指導要領の領域	全道平均との比較	全国平均との比較
数 と 計 算	上回っている	上回っている
図 形	上回っている	下回っている
測 定	上回っている	上回っている
変 化 と 関 係	上回っている	下回っている
デ ー タ の 活 用	上回っている	上回っている

<今回の調査における特徴的な問題>

●2-(4) 五角形の面積のやつ

(4) わかなさんたちは、図3のような五角形アイウエオの面積の求め方を考えています。

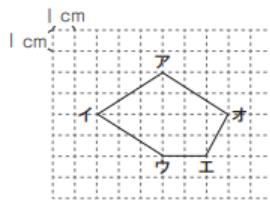


図3

わかなさんたちは、三角形や四角形の面積の求め方が使えるように、図3の五角形アイウエオを、2つの図形に分けようとしています。



わかし、私は、直線イオをひいて2つの図形に分けようと思います。



私は、直線ウオをひいて2つの図形に分けようと思います。

わかなさんとゆうたさんのどちらの分け方でも、五角形アイウエオの面積を求めることができます。

五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めるとき、あなたならどちらの直線をひいて求めますか。2つの図形に分ける1本の直線を、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、2つの図形の面積がそれぞれ何 cm^2 になるのか、それらの求め方を、図3の中から必要な長さを調べて、式や言葉を使って書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

1 直線イオ

2 直線ウオ

※ 必要ならば、下の公式を使って考えてもかまいません。

- ・ 長方形の面積＝たて×横
＝横×たて
- ・ 正方形の面積＝1辺×1辺
- ・ 平行四辺形の面積＝底辺×高さ
- ・ 三角形の面積＝底辺×高さ÷2
- ・ 台形の面積＝(上底+下底)×高さ÷2
- ・ ひし形の面積＝対角線×対角線÷2

【正答例】

- ・【番号】1【求め方】三角形アイオの面積は、 $6 \times 2 \div 2$ で求めることができます。台形イウエオの面積は、 $(6+2) \times 2 \div 2$ で求めることができます。
- ・【番号】2【求め方】ひし形アイウオの面積は、 $6 \times 4 \div 2$ で求めることができます。三角形ウエオの面積は、 $2 \times 2 \div 2$ で求めることができます。

- 4-(4) 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる問題に課題がありました。

(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10 %増量」と書かれています。

増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800 mLです。



- 1 0.1
- 2 1.1
- 3 10
- 4 110

増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。

上の○にあてはまる数を、下の 1 から 4 までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

【正答】 2

2. 算数 改善の方向

2－(4)

図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を基に、図形の面積の求め方を説明できるようにすることが大切です。本設問では、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかを問うています。ここでは、五角形の面積を求めるために、既習の求積可能な二つの図形を見だし、面積を求めるために必要な情報を自ら選び出し、二つの図形のそれぞれの面積の求め方を筋道を立てて考察することが必要です。

4－(4)

日常生活で、「10%増量」「30%引」などの百分率が用いられている場面において、倍を使って捉え直し表現できるようにすることが大切です。本設問では、「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかを問うています。ここでは、「10%増量」について、「増量前の量」を100%とすると10%増量した「増量後の量」は110%となることを基に、「増量後の量」は「増量前の量」の1.1倍であると捉え直し表現することが必要です。

☆「どう考えたか」「なぜそう思ったのか」といった思考の過程を言語化する場を意識的に取り入れながら、協働・対話を中心とした授業を展開します。

理 科

1, 領域の様子・特徴的な設問

<学習指導要領の領域の様子>

学習指導要領の領域	全道平均との比較	全国平均との比較
「エネルギー」を柱とする領域	下回っている	下回っている
「粒子」を柱とする領域	上回っている	上回っている
「生命」を柱とする領域	上回っている	上回っている
「地球」を柱とする領域	上回っている	上回っている

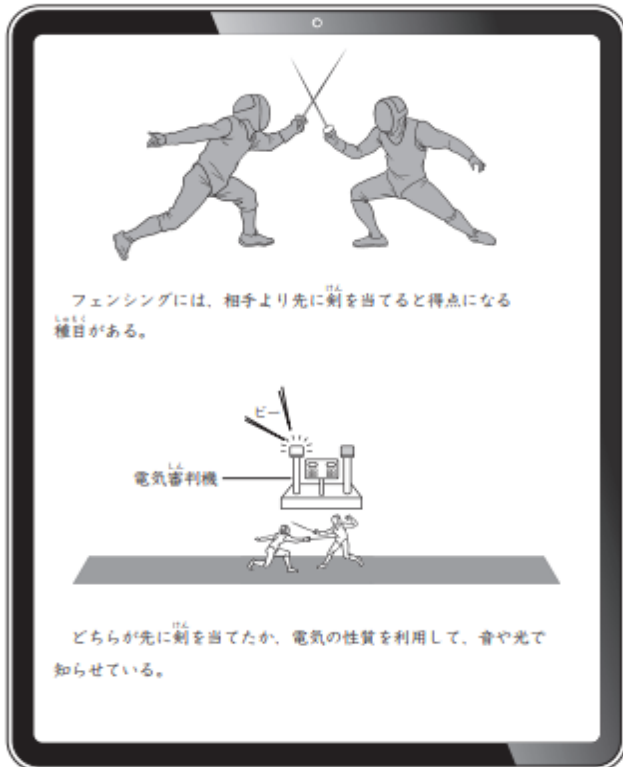
<今回の調査における特徴的な問題>

2-(1)(2)

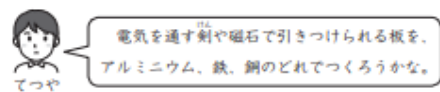
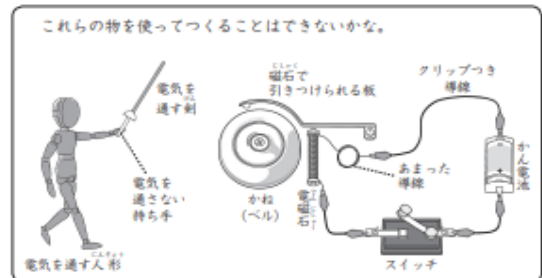
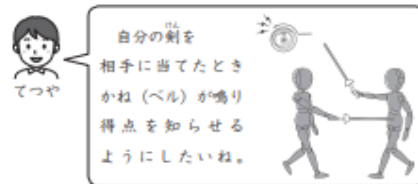
身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題や、電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題に課題がありました。

2

てつやさんといおりさんは、フェンシングについて調べています。



てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



いおり

てつや

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

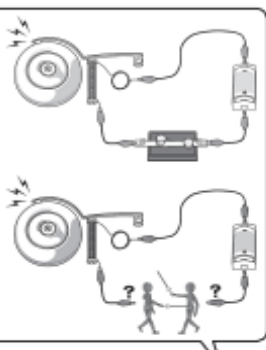
- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

【正答】 アルミニウム 2、鉄 1、銅 2

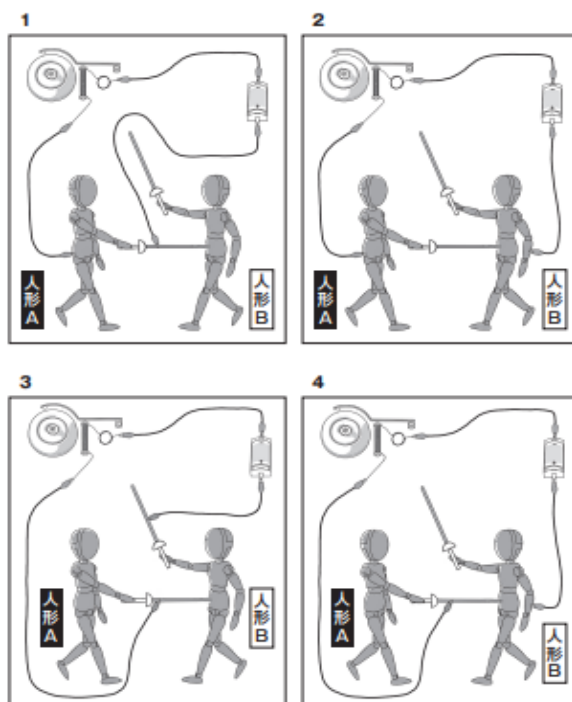
いおりさんは、かね（ベル）が鳴るしくみについて考えています。

スイッチを入れると、
かね（ベル）が鳴るしくみ
になっているね。

スイッチを人形に置きかえ、
人形に剣を当てたときだけ、
かね（ベル）が鳴るようにしたい。



(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



【正答】 4

2. 理科 改善の方向

2－（1）

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを理解していることが大切です。そのため、自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深めることが必要です。

2－（2）

電気の回路のつくり方について、解決するための観察、実験の方法を発想し、表現することが求められます。そのため、設定した目的を達成できるよう、自然の性質や規則性を適用したもののづくりを行うことの重要性に気づくことが大切です。

☆見通しをもたせた問題解決的な学習により、事実に基づく知識を身に付けさせます。また、問題を解決するまでの道筋を構想し、根拠のある予想や仮説を発想したり、解決の方法を発想したりするなど、自分の考えを十分にもたせる授業を進めます。

児童質問紙（学習状況調査）

1，主体的・対話的で深い学びに関する項目

＜今回の調査における特徴的な面＞

- ◎ 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている児童が多い。
- ◎ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている児童が多い。
- ◎ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている児童が多い。

＜今回の調査でわかったことと改善の方向＞

引き続き、協働・対話を中心とした授業展開と、主体的な学びを引き出す指導を進めます。

2，ICT を活用した学習に関する項目

＜今回の調査における特徴的な面＞

- ◎ 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器をよく活用できた点
 - ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる
 - ・分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
 - ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
- ◎ 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器をあまり活用できなかった点
 - ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
 - ・プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる

＜今回の調査でわかったことと改善の方向＞

対話的な授業で、児童どうしの意見交流や説明がスムーズかつ活発化する ICT の活用について考えていきます。

3，学習に対する興味・関心や授業の理解度等に関する項目

＜今回の調査における特徴的な面＞

- ◎ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童が多い。
- ◎ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている児童が多い。
- ◎ 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた児童が多い。
- ◎ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていた児童が多い。
- ◎ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思った児童が多い。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

引き続き、児童の学習に向かう関心・意欲の維持、向上に努めます。さらに、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるように努めます。

4. 児童の様子に関する項目

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ 例年課題だった、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問について改善が見られた。
- ◎ 朝食を毎日食べることや、毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりするなど規則正しい生活を心掛けている児童が多い。
- ◎ 将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- ◎ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童が多い。
- ◎ わずかだが、学校が楽しくない、友達関係に満足していないと思っている児童がいる。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

QU や各種アンケートを利用して、児童との面談を行い、学級への満足度や、友達関係などを改善していきます。

まとめ

- ◆ 今回の調査だけで全ての児童や一人ひとりのことを判断することはできませんが、本校では、これまでのデータも加えながら、今後の指導に役立てて行きたいと考えています。
- ◆ 今回の調査で明らかになったことについては、次のように取り組みます。
 - ① 子どもたちの傾向の分析結果について職員間で交流し、学校全体で授業改革の意識を高めます。
 - ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用し、思考力・判断力・表現力を育成することを今後も継続的に取り組んでいきます。
 - ③ これからも児童がのびのびと取り組んでいける教育環境の整備・充実を一層図っていきます。
- ◆ 今後もさらに児童一人ひとりの力を伸ばしていくよう努力して参ります。ご家庭でも、子どもたちの望ましい学習習慣・生活習慣が確立できるよう、ご協力をお願いします。
- ◆ 本校の教育活動へのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。